

はじめに

本市では、環境基本条例に基づく環境基本計画を1994年に全国に先駆けて策定しました。環境問題は、地域の問題から地球規模まで広範囲に及んでおり、時代の変化に応じて変遷する環境問題に対応するため、2011年に計画の全面改定を行い、総合的かつ計画的な環境行政を推進し、「環境を守り、自然と調和した活気あふれる 持続可能な市民都市」を目指しています。



こうした中、2015年4月には、市民の皆様のごみ減量と資源化の御協力により、これまで市内4カ所で稼働していたごみ焼却処理施設を3カ所の稼働とする3処理センター体制に移行するなど、大きな効果を生み出すことができました。今後も安定的なごみ処理体制の構築に向けて取組を進めてまいります。

また、5月には川崎らしいエネルギーの取組を推進するため、「川崎市エネルギー取組方針」を策定しました。本市のすぐれた環境技術、環境産業の集積などの特徴や強みを活かし、最先端の技術を取り入れた創エネ、省エネ、蓄エネの総合的な取組の推進や多様な主体がエネルギーの利用について自ら考え、行動する都市を目指してまいります。

この環境基本計画年次報告書は、環境基本計画の進行管理のため、2014年度における市の環境の現状と施策の実施状況をとりまとめたものであり、今後の施策推進に活用してまいります。

本書を御覧いただきまして、本市の環境の現状を御理解いただくとともに、本市の環境施策に対し、市民の皆様から御意見・御要望をいただければ幸いに存じます。

2016年1月

川崎市長

福田 紀彦